

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年 4月 16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2271100675
法人名	有限会社 在宅支援センターふれあい
事業所名	グループホーム 奄美
所在地 (電話番号)	沼津市本郷町38-6 (055-934-5151)
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成21年2月21日

## 【情報提供票より】(平成21年2月5日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 3月 15日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 16 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 15.5

### (2) 建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての1階～2階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	22,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 72000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1000 円	

### (4) 利用者の概要(平成21年2月5日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	9 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.8 歳	最低	66 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	永野医院 杉山病院 佐野歯科医院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

沼津市香貫山の麓、狩野川近くの自然環境に恵まれた静かな住宅街に、日当たりの良い庭とウッドデッキが配置されたホームである。ふれあいグループとしての組織的バックアップと、管理者のホーム運営への思いと職員間の信頼関係が、利用者の明るく元気な生活を支えていることが窺えるホームである。地域や家族とも良好な関係が築かれ、運営推進会議も積極的に活用されている。これからの更なる取り組みとして毎月のモニタリングと連動した介護計画見直しの仕組みやホームのオープンな環境作りへのチャレンジなどが期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者は外部評価、自己評価の意義を良く理解しており、前回の評価結果は全職員に報告され、介護計画の見直し・玄關鍵の開錠を除き改善実施への取り組みが確認出来た。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は全職員で話し合わせ、各ユニット毎の特徴や改善への取り組みを行っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1度定期的実施され、多くの家族・利用者・自治会代表・地域包括支援センター職員・民生委員・介護相談員などの参加の下に、ホームでの暮らし・行事の報告や家族・地域の人達の要望・意見などの話し合いの場として有効に活用されている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月のお便りで、ホームでの生活の様子や行事などの写真や利用者の近況報告が行なわれている。契約書等の相談・苦情窓口の明示や意見箱設置のほか、運営推進会議での質疑応答や来訪時の面談・電話連絡などで家族とのコミュニケーションを図りその対応を行なっている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域自治会に加入し、利用者を含め清掃活動や老人会、地域行事に参加している。近くの中学校行事(運動会や文化祭など)に招かれたり、福祉体験学習の受け入れや、子供神輿の来訪など地域との交流は活発に行われている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で作上げたホーム理念「そっと守り、そして共に生きる」をホーム内に掲示し、地域の中で利用者の生活文化・習慣・価値観を尊重、継続する理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の全体ミーティングや日々の申し送り時に理念の読み上げを行いその確認を実施し、毎月の目標を掲示してその実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に加入し、利用者を含め清掃活動や老人会、地域行事に参加している。近くの中学校行事(運動会や文化祭など)に招かれたり、福祉体験学習の受け入れや、子供神輿の来訪など地域との交流は活発に行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価、自己評価の意義を良く理解しており、前回の評価結果は全職員に報告され、改善実施への取り組みが確認出来た。自己評価も全職員で取り組み各ユニット毎の特徴や改善への取り組みを行なっている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度定期的実施され、多くの家族・利用者・自治会代表・地域包括・民生委員・介護相談員などの参加の下に、ホームでの暮らし・行事の報告や家族・地域の人達の要望・意見などの話し合いの場として有効に活用されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市との連携は、利用者の介護認定更新時の相談や、事業所としての相談など密接に行われている。運営推進会議への出席や介護相談員の受け入れも行われている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	運営推進会議に多くの家族の参加が見られ、毎月のお便りで、ホームでの生活の様子や行事などの写真や利用者の近況報告を伝えている。家族アンケートからも家族との良好な関係が窺える。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書等の相談・苦情窓口の明示や意見箱設置のほか、運営推進会議での質疑応答や来訪時の面談・電話連絡などで家族とのコミュニケーションを図りその対応を行なっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットごとに職員の固定化を図り、職員の異動は最小限に抑えている。止むを得ない異動や離職の際は複数の居室担当により利用者への影響を防ぐ配慮を行なっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ふれあいグループ内の研修委員会で毎月職員のレベルに応じた研修会が開催されている。資格取得へ向けた研修支援も行なわれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターのグループホーム会議に参加し、他ホームとの交流や現場見学、同グループ内の交流などで意見・情報交換に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	センター方式を活用して利用者の生活を把握し、見学やお茶などの体験の機会を設けホームに馴染めるよう工夫している。馴染みの物の持込などで自宅と同じような生活習慣を継続出来るよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームは利用者の住まいとして生活できるよう家事等はすべて一緒に行なっている。料理の味付け、季節料理の意味、生活の知恵・工夫などを教わりながら共に支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人・家族との面談やアセスメントにより出来ること、得意なこと、希望などを把握した上で日々の生活の中で利用者の行動や表情から本人の希望に添った暮らしができる様支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の希望を元に担当職員、医師、看護師の連携により得た情報をフロアーミーティング、全体ミーティングで話し合いケアマネージャーが介護計画を作成している。ケアマネージャーは交代したばかりなので、現在は前者のプランで問題がなければそのまま続行している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者担当の職員が中心となって毎月のフロアーミーティングや全体ミーティングの時、変化のある利用者について話し合い、その都度見直しを行っている。介護計画の設定期間や定期的な見直しについては確認できなかった。	○	介護計画作成後、日々のケア実践とそのモニタリングによる介護計画を定期的に見直す仕組み作りへの取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況に応じて病院への受診代行をおこなっている。系列他ホーム利用者との交流や、行楽などで外出するときは、系列の施設の車を借りるなど、多機能性を活かした支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医の受診や、事業所の提携医に受診を受けている。提携医とは良好な関係で、月1回内科、整形外科の往診や歯科の口腔内検診、ブラッシング指導も毎週の往診で適切な医療を受けられるように支援している。また、グループ内の看護師による巡回も週4日位行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応について、入居時にホームで出来ること、出来ない事など本人や家族と十分話し合い、かかりつけ医や看護師と連携を取り合っ、ターミナル時の基本指針を元に方針を共有し、家族からも同意書ももらっている。また、管理者は職員の不安感など個人面談を設け解決できるように努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの状況に合わせた声掛けや、誇り、プライバシーの確保に配慮している。個人情報等の記録は、専用の棚に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に添った支援をしている	利用者本位の生活を重視して、その時にでた言葉を元に、外出や買い物、散歩など自発的に出来る様、一人ひとりのペースを大切に、希望に添った支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を取り入れ、皆が持てる力を活かしながら食事の準備をしている。野菜はちぎる方法を考えて職員と共に支度をし、皆で会話を楽しみながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日を決めているが、利用者のその日の希望を聞き、その人のタイミングに合わせた入浴支援が行われている。また、同性介助を適用しており羞恥心への配慮もされている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で、各フロアの掃除機がけやモップがけをしたり、洗面所の掃除や自分で洗濯をする人、家庭菜園など一人ひとりの生活歴を活かした役割や、近所の和菓子屋、八百屋に買い物に出かけたり、手紙をポストに出す人などの楽しみ事や気晴らしになる支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩や買い物・季節の花見・鯉のぼり・七夕・イチゴ狩り・つるし雛などを見に、また、毎月レクリエーション担当職員がドライブやピクニックに出掛けられるように計画を立てている。毎年、旅館へ一泊旅行にも出掛けている。誕生日には本人の希望の場所へ家族や職員と出掛ける等、支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は建物の構造上自動ロックが掛かってしまうが、外出希望時の開錠や、ウッドデッキへの出入りは自由になっている。	○	外出希望の強い利用者への対応は大変だと思われるが、利用者や家族・地域の人達などが自由に行き来できるホームのオープンな環境作りを期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災委員を中心に防災、避難訓練を2～3ヵ月毎に昼夜を想定して実施している。2階の利用者は全員自力で避難できるが、万全を尽くせるように消防署の指導を仰ぎながら訓練している。また、運営推進会議で地域の人達の参加協力をお願いしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事バランスチェック表を利用し、医師との連携により一人ひとりの状態に合わせて、食事、水分摂取量の管理や記録を行って、適切に摂取出来る様工夫されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の廊下の壁に、行事や外出した時の写真が提示され、利用者の活動状況を表す工夫がなされている。建物の構造上、居室のドアを開けると明るい日差しが入ってくるが、利用者の希望で入口にレースのカーテンを付け、プライバシーを確保している。また、ウッドデッキ周囲にはプランターを置いて段差解消をしており、花壇にある家庭菜園では収穫を楽しむ季節の味わい出来るように工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の慣れ親しんだ家具やベッドを持ち込んで、自宅と同じように居心地良く過ごせるようにしている。		